

国指定史跡

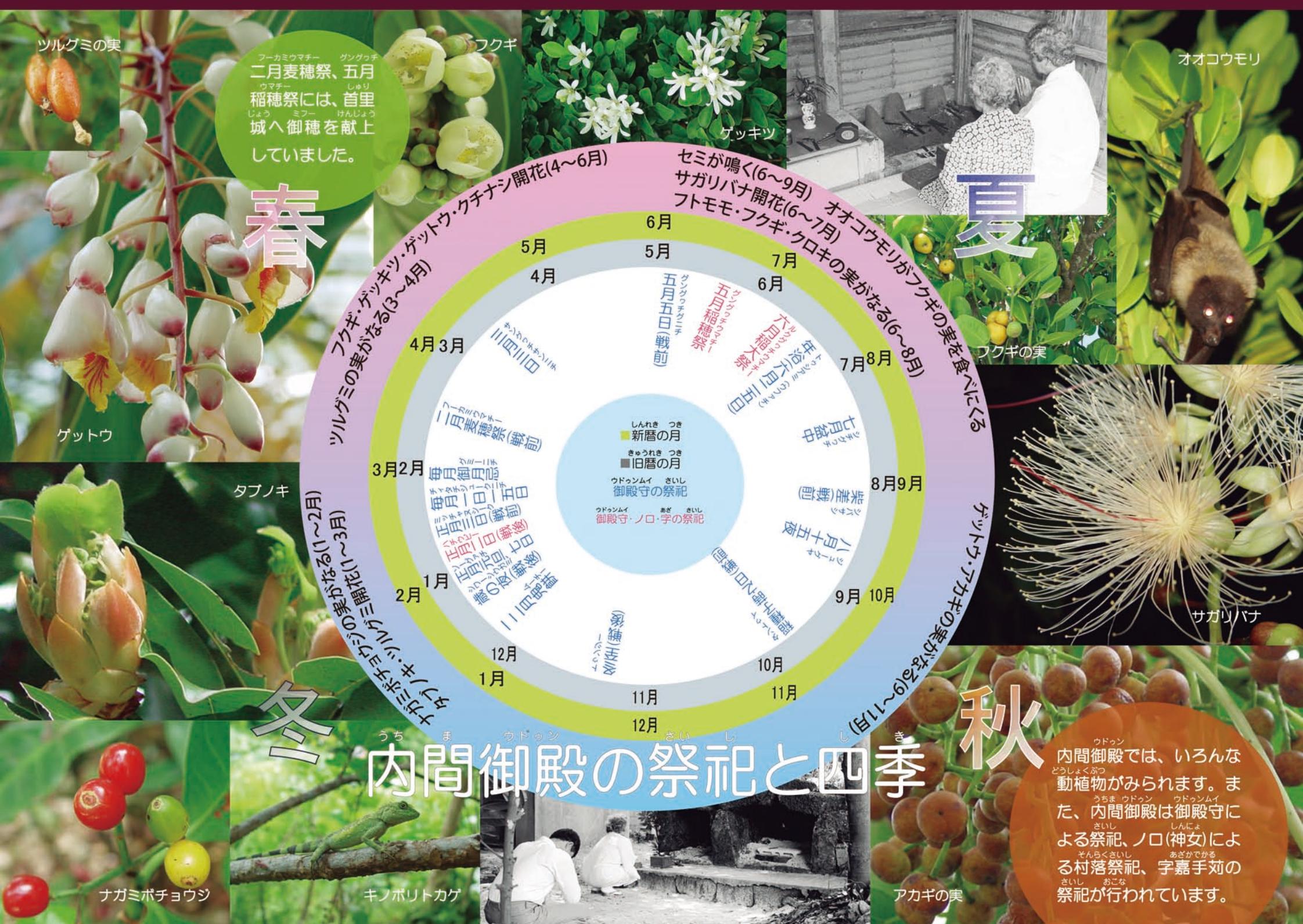
うちまウドゥン 内間御殿

内間御殿は、第二尚氏初代の尚円王(金丸・1415~1476)が、内間地頭に任せられた時の住居跡地に建てられた神殿です。尚円王が亡くなつてから190年後に、琉球國の聖地として整備されました。

内間御殿は、東江御殿と西江御殿のふたつの瓦葺神殿からなり、それぞれ「御殿守」と呼ばれる人々によって管理されてきましたが、沖縄戦によって建物や「先王旧宅碑」は破壊されてしまいました。

平成23年2月7日に国指定文化財となり、今後は発掘調査やさまざまな整備が行われる予定です。

種類：史跡
指定：国指定 平成23年2月7日
所在：西原町字嘉手苅 上之松



内間御殿の整備年表

年号	国王	事項	
1454	尚泰久	かなまる うちま りょうしう にん 金丸、内間の領主に任せられる	
1468	尚徳	かなまる うちま いんとん 内間に隠遁する	
1469	?	かなまる お おうし 金丸、推されて王位につく	
1689	尚貞	ははじ ちゅうじゅう きゅうとうく かやぶき たてもの 羽地朝秀、旧宅に茅葺の建物をつくる(東殿)	あおみ ウドゥン かしき からら ちょうじゅう アガリーウドゥン 大美御殿、檜木、瓦をもって重修する(東殿)
1706	尚敬	にしはらさり じんみん イリーウドゥン ふしん 西原間切の人民、西殿を普請する	
1735		きょうたく ぜくい たからまくら とうなん 旧宅に賊入り、宝枕の盗難にあう	
1737		さいあん あうめい イリーウドゥン ちょうじゅう 蔡温、王命をうけて西殿を重修する	
1738		アガリーウドゥン いしがき かこ イリーウドゥン かいぞう おこな 東殿を石垣で囲み、西殿の改造も行う	
		せんこうきゅうたくひき こんりゅう ち わ へんがく かか 先王旧宅碑記を建立し「致和」の扁額を掲げる	
1945		あきわせん ウドゥン しゃくづ 沖縄戦で御殿が焼失	
1951		なかやまけいちもん アガリーウドゥン もくぞう 中山一家、東殿を木造トタン葺きで再建する	
1974		アガリーウドゥン ぶ かいちく 東殿、コンクリートブロックトタン葺きに改築される	



問い合わせ

おきなわけんにしへらちょうきょういくいいんかい
沖縄県西原町教育委員会
しょうがいがくしゅうか ぶんかざいがかり
生涯学習課 文化財係

おきなわけんなかがみぐんにしへらちょうあざかでかる
沖縄県中頭郡西原町字嘉手苅 112

TEL:098-945-5036

FAX:098-945-6770

ぶんかざい せんじん せいかつ なか つく
※文化財は、先人たちが生活中で創り
あ ぶんかざいさん げんだい わたし
上げてきた文化遺産で、現代の私たちに
ざいさん たいせつ
とってかけがえのない財産です。大切に
しましょう。



うちま ウドゥン 内間御殿ってどんなところ？

うちま ウドゥン ぶんかざい てんざい
内閣御殿にはいろんな文化財が点在しています



イリーヌウブガ
ウブガ
りよう
産井として利用さ
れた。



なかやまけもんじょ
中山家文書
ちゅうざんかぶんしょ
(町指定有形文化財)
アガリーウドゥン かんり
東江御殿を管理してき
なかやまけ やごう
た中山家(屋号・ウフ
たつ こもんじょ こう
ヤ)に伝わる古文書。公
ふんしょ しぶんしょ
文書と私文書からなる。

カニマルウカ一
かなまる しょうえんおう し
金丸(尚円王)が使
よう
用したといわれる。

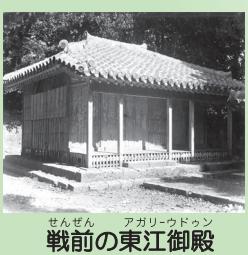


かなまる な あと しんでん た
金丸が亡くなった後、神殿が建てられ、
すうかい せいび
数回にわたり整備されてきた。

ねんしんでんせいもん しょうけいあうじひつ ち わ
1738年神殿正門に尚敬王自筆の「致和」
へんがく かか しんでん くに
の扁額が掲げられ、神殿のわきには、國の
せいち せいび けいい しる
聖地として整備されてきた経緯が記された
せんのうきゅううたくひ こんりゅう おきなわせん
「先王旧宅碑」が建立されたが、沖縄戦で
そんかい いちはばかり



ちわ せきひ 「致和」の石碑



せんぜん アガリ-ウドゥン
戦前の東江御殿



アガリ-ウドゥンせいもん

もっとしりたい！ という方は…こちらがオススメ↓

『内間御殿』西原村教育委員会 1978/『内間御殿の成立と展開』西原町教育委員会 2010/『内間御殿国指定記念シンポジウム報告書』西原町教育委員会 2012



せいび どう整備されるの？

くにしていくかさい うちま ウドゥン
国指定文化財である内間御殿は5つの
せいび よてい
ゾーンにわけて整備していく予定です

イリーウドゥン
西江御殿ゾーン
ちいきじゅうみん うちま ウドゥン しめ イリー
地域住民と内間御殿のつながりを示す西江
ウドゥン こんじ しりょうしゅうじゅう ちょうさ おこな ふく
御殿は、今後、資料収集と調査を行い、復
げん せいび よてい
元整備する予定です。

りょくち
緑地ゾーン
うちま うどん かわれん いこう かくにん
内閣御殿に関連する構造が確認されれば、
ほ ご こうかい かつよう けんとう よてい
保護しながら公開・活用を検討する予定で
す。

アガリーウドゥン
東江御殿ゾーン
いしがき かこ はんい うちま ウドゥン ちゅうかく
石垣で囲われた範囲は、内間御殿の中核を
せき げんみつ ほぞん かんり おこな
なす史跡として厳密な保存・管理を行いま
あきなわせんちょくぜん すがた ふくがんせいび よ
す。沖縄戦直前までの姿に復元整備する予
てい 定です。

アガリーケ
東江家ゾーン
かでかるしゅうらく そうしけ アガリーケ うちま
嘉手効栽培の創始家である東江家と、内間
ウドモン かんねんせい ちょうさ けんきゅう
御殿の関連性などを調査・研究しながら、
かくにん いこころ り かつよう はか よてい
確認できる遺構の利活用を図る予定です。

とりい
鳥居ゾーン
こんご しりょうしゅうしゅう ちょうさ おこな ほ ご かつよう
今後、資料収集と調査を行い、保護と活用
けんとう よてい
を検討する予定です。

かなまる しょうえんおう ぶんかざい 金丸(尚円王)にまつわる文化財

- カヤブチウドゥン(字内間) …金丸と内間ノロが一緒にすごした場所といわれる。

■ナコーモー(字内間) …金丸と内間ノロが出会った丘といわれる。

■ンスハジー(海岸の半瀬) …王位につくよう臣下たちが金丸に迫った場所といわれる。

■ウガンジャマー(字津花波) …首里へのぼる金丸へ、もとの妻が再縁を求めた場所といわれる。

■ジーマヌウカー(字嘉手苅) …「王たまし川」と伝わる。金丸が魚網を干したといわれ「アミウージガーア」とも呼ばれる。

■御茶多理五郎の墓(字池田)…金丸に仕えたといわれる人物の墓。